

■第 2 回 大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会での主な意見

日時：令和 5 年 12 月 20 日（水）13 時 30 分～15 時 10 分

委員：辻^{*1}、清水^{*2}、山村、陸野、津田、大塚、古城、菊屋（敬称略） ^{*1}委員長 ^{*2}副委員長

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
1	再配置計画の構成について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は大項目で整理すべき。公共施設の一類型として整理するのではなく、極めて優先的に考えているという位置付けでまとめていきたい。 ・2章がわかりにくい。例えば、具体的な施設の方向性は3章として分割し、3-1は一般的な公共施設、3-2は学校園、などとしてはどうか。 ・一般的な公共施設についても、目的などから3つか4つ程度に分けて、その中で短期・中長期に分けると理解が早いのではないか。
2	学校施設の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・早急に改善が必要な学校園とそうではないものがある。緊急性のある学校園を先に取り上げるべきではないか。 ・緊急性のある学校に関して、教育委員会で事務局も含めて早急に対応するしかない。本委員会での議論は、まち全体を通して、人口減少に伴い子どもの数も減っていく中で、教育委員会と議論して学校園をどう位置付けるのかを考えた方がよく、これからはそれがメインになってくる。 →事務局) 学校園については、昨年度に適正規模・適正配置の大きな方針は示されているが、例えば通学区域の検討や、統廃合の検討など、どの学校園をいつまでに何を実施するのか等については見えていない部分があるので、教育委員会と協議をしているところである。 ・教育委員会としてどうするのかという議論と並行して、お金の面も大事である。 ・学校園は、それだけの位置図のほうがわかりやすい。 ・位置図には通学圏があってもよい。 ・学校は地域のコミュニティの核になっている。 ・子どもを公立幼稚園に通わせてきたが、私立の幼稚園が無償化され、公立の園児数が減り、毎年のように園が継続できるか綱渡りの状況であった。園児が増えるかわからない中で、改修もままならない実情を見てきた。検討すらしづらい状況にある園があることも知っておいてもらいたい。
3	複合化について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が学校に集まれるような、学校と公民館を複合化するといった事例もあるのではないか。 ・和泉市にはつが野学園という小中一貫校ができた。そこには自治会のための部屋もあり、学校が使用しないときは、地域に開放したりなど地域に還元している。 ・限られた財源で、サービスを維持しながら子どもの環境をどうするか、そういう難しい状況で、例えば複合化で全体のコストを下げるというのも必要だと思う。
4	再配置の候補地について	<ul style="list-style-type: none"> ・北部では人口が増えており、反対にニュータウン地区では減っている。 ・新たな用地を取得して公共施設をつくるという考えはあるのか。 →事務局) 原則新たな用地を取得する考えはない。 ・近大の跡地の調整はまだ決まっていないのか。例えば、この今熊エリアに集約している公民館や図書館、福祉施設を全部あちらに持っていくという構想が出ることもあるのか。 →事務局) 12月中に跡地取得企業が選定されると聞いており、具体的な内容はその後の調整になるが（そこまでの構想は）ほぼないと思われる。

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
5	施設の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性の検討フローなどは示されているが、短期に再配置を想定する11施設について、具体的にどのような評価で位置付けられたのかわかりにくい。 →事務局) どういうフローで仕分けたかの説明はどこかに入れる必要があると考えている。
6	今後の庁内調整のスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の資料では、「調整中」という枠がたくさんあるが、「いつまでに調整」としないと、いつまでたってもまとまらないのではないかと。 →事務局) 2024年6月から7月にタウンミーティングを予定しており、それまでにまとめる必要があると考えている。 ・タウンミーティングでは、すべての小中学校をどうするか、すべての公共施設をどうするか、そこまではまとめきれないと思う。将来的な方向性と、公共施設の中でどこを複合化すれば有効である、コストが下げられるという話にとどまるのではないかと。 ・「いつまでに建替える」とは言えなくても、「この学校はこの方向で現在検討中」という回答もありにしないと、收拾がつかなくなるのではないかと。 →事務局) タウンミーティングでは、市全体の取組を議論するのではなく、市民アンケートなどで得られたデータに基づいて、複合を検討する施設についてご意見をいただきたいと思っている。
7	対象施設の要件整理	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題については、箇条書きにし、一目で状況がわかる方がよい。 ・学校では耐力度調査を実施すると聞いている。建物の状態について現状を把握した上でないと、ビジョンは描きにくい。 ・施設によって書きぶりも違うと思う。枠線の太さなども変えるなどして、見やすいように整理してほしい。